

安藤正純 政治家。明治九年九月、二十五日東京生れ。昭和二十
年十月十四日歿（八六―一九五）。號鐵腸。生家は滋草の眞宗大谷派眞
龍寺。哲學館、東京專門學校の學び、明治二十九年朝日新聞社入社、
東京本社編輯局長を歴ぐ、大正九年衆議院議員（當選十一回）。文部
政務次官、國務相、文相歴任。日本宗教連盟理事長、日本労働學校校
長を務めた。

著書の『眞宗大聖典』全二冊（編、大正五年七月十八日日本佛教協
會）、『羅馬法と主論（使節派遣問題）』（大正十一年一月、二十一日眞
龍窟）、『日本の行く道』（昭和十二年五月、二十五日眞龍窟）、『發
展日本の原理と新體制』（昭和十五年十一月、二十日大東出版社）、『政
界を歩みつ』（昭和十八年一月五日大智書房）、『憲法をどう改正
するの』（昭和二十一年二月、二十五日ブルーム社）、『講義を前にし
て―附送版の自書』（昭和二十六年五月、二十五日經濟往来社）、『安
藤正純遺稿』（小笠原義雄編、昭和二十七年十月十四日安藤正純先生
遺徳顕彰会）等。

